

魔法使いの弟子が作った原発

2019年11月20日 筒井哲郎

1. 魔法使いの弟子

後期高齢者のみなさんは、おそらく小学生時代に学校から集団で、ディズニーの映画「ファンタジア」を見に行かれたであろう。名曲に載せて躍動する「総天然色」の「漫画」（当時は「アニメーション」という日本語はなかった）に、「アメリカの国はすごいなー」と感心していた。

その中の2番目のストーリーが、ゲーテが詩で表現したストーリーをそのままアニメにしたものであった。そのあらすじは次のようなものである。

とある工房に老いた魔法使いと若い弟子がいた。ある日、魔法使いの老師は弟子に水汲みの雑用を命じて出かけて行った。

水汲みの仕事をサボろうと、魔法使いの弟子は、見よう見まねでホウキに魔法をかけ、自分の代わりに仕事をさせようと思いついた。

まだ見習いで魔法を習得していたわけではなかったが、運よく魔法は大成功。ホウキは動き出し、せっせと水汲みの仕事を始めた。

十分水もくみ終わり、そろそろホウキの魔法を解かなければならなくなった魔法使いの弟子は、あることに気がついて青ざめた。魔法を解除する方法を知らなかったのだ。

止めどなく水をくみ続けるホウキ。水はあふれかえり、工房の床は一面水浸しに。あせった魔法使いの弟子は、「止められないなら壊してしまえ」とホウキを鉋で真っ二つにするが、なんとホウキは分身となって数を増やし、前より増した勢いで水をくみ続けていく。

洪水のようにあふれかえる水。どうしようもなくなった魔法使いの弟子は万事休す、もはや絶望的な状況に追い込まれたその時、魔法使いの老師が舞い戻り、熟練した魔法でたちまち事態を収拾し、未熟で軽率な弟子を厳しく叱りつけた¹。

詩の全文は、今日インターネット上で見ることができる²。

¹ 「世界の民謡・童謡『魔法使いの弟子』」 <http://www.worldfolksong.com/classical/famous/sorcerer-apprentice.html>

² 「デュカス作曲『魔法使いの弟子』」 http://apiacere.ddo.jp/leger12sound_ducas_complete.html

ファンタジア



作品紹介

キャスト/スタッフ

図1. ホウキに魔法をかけて首尾よく水くみをさせ始めたところ³



図2. バラバラに破壊されたホウキがたくさん分身になってさらに威勢よく水くみをしているところ⁴

筆者は今まで原発の性格をさまざまに表現しようとしてきたが、この魔法使いの弟子の話に酷似しているように思う。地球表面の生物圏にはなく、太陽の中で行われてきた核反

³ 「ファンタジア」 <https://www.disney.co.jp/studio/animation/0023.html>

⁴ ディズニー映画「ファンタジア」あらすじ&ネタバレ・トリビアも紹介 <https://castel.jp/p/1447#i-11>

応エネルギーを、人間が利用するようになった。しかし、そのエネルギーが暴走したときに止める手段を知らず、エネルギー利用から必然的に発生する核廃棄物を安心して捨てる場所も地球上には見つからない。福島第一で津波がきっかけで核反応の制御ができなくなったことは、「魔法使いの弟子」が大量の水にパニックを起こすのと似ている。そして、核廃棄物の処分ができない状態は「トイレ無きマンション」と言われて久しい。

3. 後始末を考えていない原発

2019年11月29日に、埼玉県東松山市にある「原爆の図丸木美術館」で、日本画家戸田みどりさんの展覧会「見捨てられた牛ーフクシマより」のフィナーレを飾るシンポジウムが行われる。そこで、筆者はパワーポイントを使って、「原発事故と魔法使いの弟子たち」と題してプレゼンテーションを行う。そのパワーポイント資料を以下に添付して、後始末できない原発の実態を説明する予定である。

添付資料：

パワーポイント「原発事故と魔法使いの弟子たち」